システム設定マニュアル
Approach DAM
メールDMサーバー連携設定マニュアル

目次

はじめに 3
メール取込機能を利用するためのメール設定 8
メール配信機能を利用するためのメール設定 14
メール取込ルール 18

はじめに

本マニュアルは、メールの設定に関するマニュアルです。
先にセットアップしたメールDMサーバーとの連携設定からそのあとのメール設定に関する一連の作業の流れをご案内いたします。次の内容をご確認いただき、手順に従って設定してください。

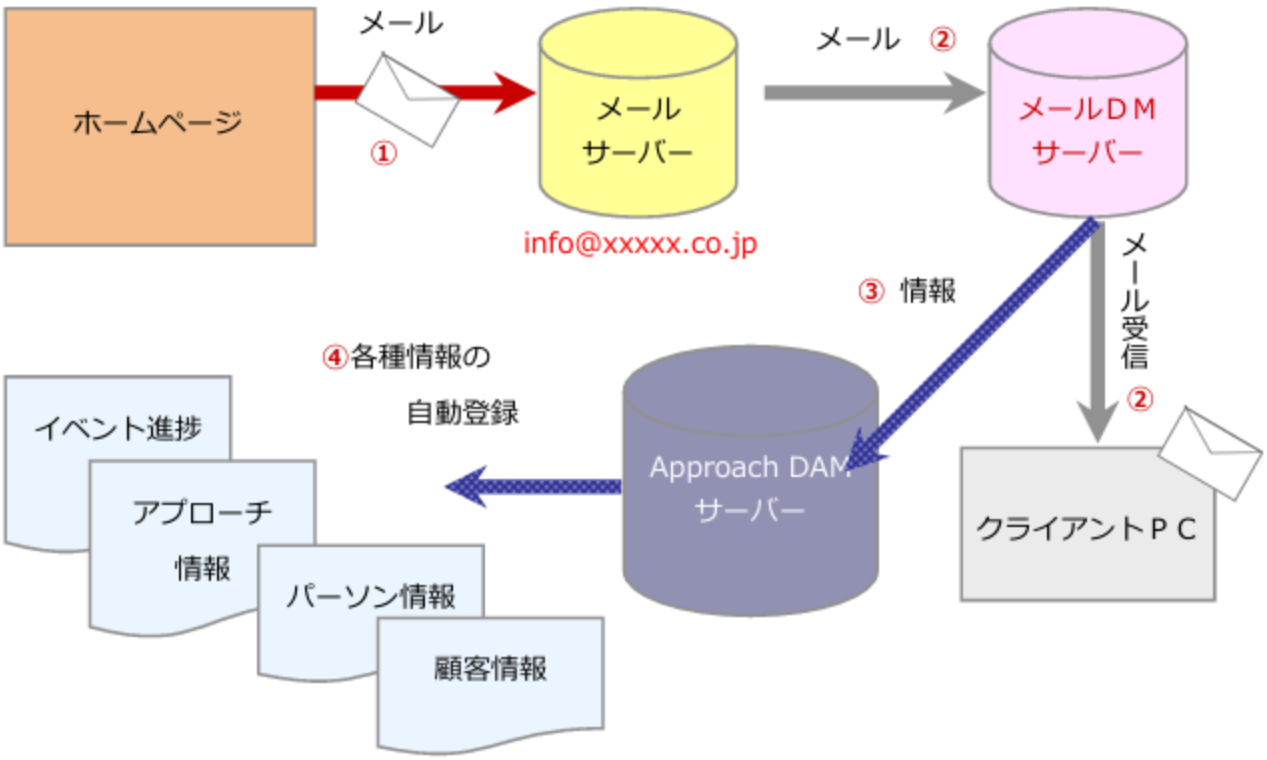
補足

- **本マニュアルにおける製品名の呼称について**
  本マニュアルでは『Approach DAM』という呼称で説明しています。弊社製品の『Sales Force Assistant』シリーズと『Approach DAM』を一緒に導入されている場合、システム設定などの一部のタブメニューの製品名表記が異なる場合がありますが該当箇所は適宜お読み替えください。

▶ 構成図

メールDMサーバーの設定の前に、メールDMサーバーを利用して行われるメール送受信の一連の流れについてご案内します。

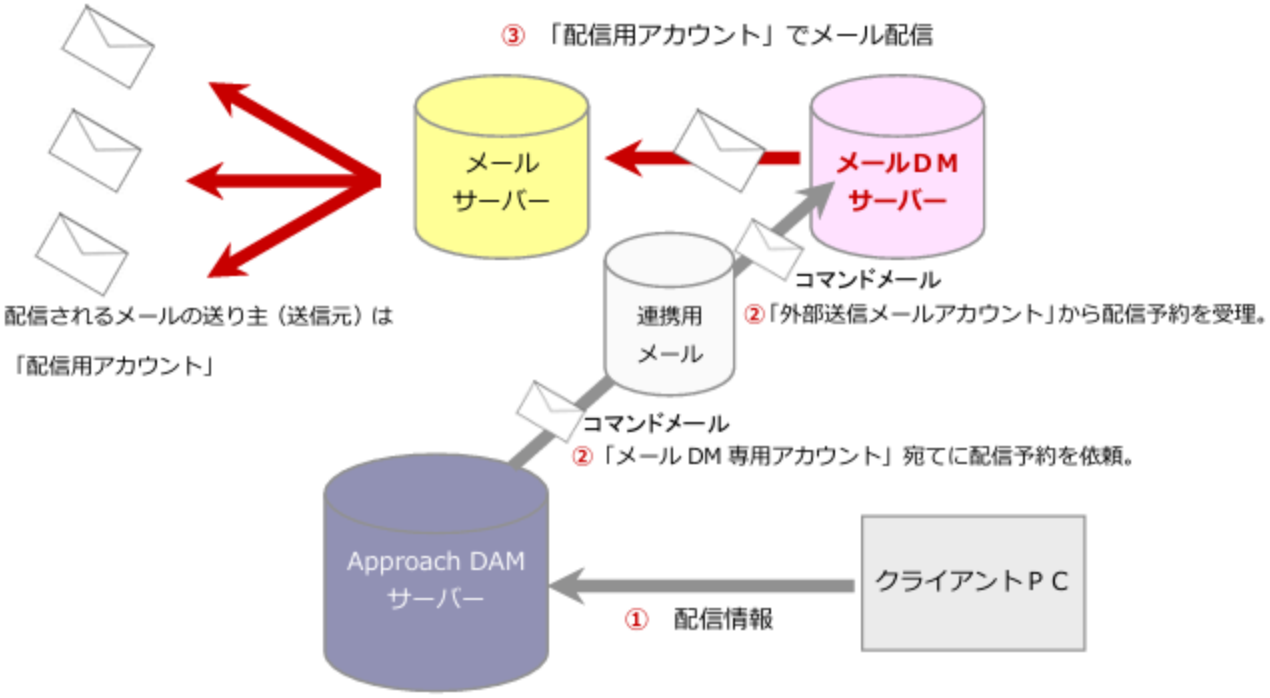
【メール受信（WEB データ自動取込み）】



■メール受信の流れ

1. ホームページからの問い合わせ内容がメールでメールサーバーへ送信されます。
2. Approach DAM利用者がメールを受信します。この時、メールDMサーバーを経由して受信します。
3. 2.で受信する際、「メール取込ルール」の条件に合致するメールは、その内容がApproach DAMサーバーへ取り込まれます。
   ※「メール取込ルール」・・・「件名にXXを含む」メールなど製品に取込みたいメールの条件のこと。
4. メール取込ルールの取込フォーマットの設定によって各種情報を自動で登録します。

【メール送信（メール一斉配信機能）】



■メール配信の流れ

1. 配信情報を作成します。
2. 作成した配信情報は外部送信メールアカウントからのメールを介して専用書式のメール（コマンドメール）が送信され、メールDMサーバーがこれを受理することで配信予約が行われます。
3. 配信時刻になると、メールDMサーバーが「配信用アカウント」を使って配信を開始します。

▶ メールアカウントについて

Approach DAMのメイン機能「メール取込機能」と「メール配信機能」をご利用になるためには、複数のメールアカウントの登録が必要となります。各機能で設定が必要な箇所は以下の通りです。

> ⚠ 注意
>
> - メールDMサーバーのインストールおよびアカウントの設定は、マニュアル「メールDMサーバーセットアップマニュアル」をご参照ください。

▶ メール取込機能

設定箇所	種類（設定先）	説明
メールDMサーバー	A.メールDMサーバー用アカウント （メールDM管理画面で設定）	メールDMサーバーとApproach DAMサーバーが連携する際に必要なアカウント。 他で利用しない**専用のアカウント**が必要です。
Approach DAMサーバー	B.取込用アカウント （「共用メールアカウント」に設定）	ホームページの問い合わせ内容が届くメールアカウント。 現在ご利用の（例：info@XXX）のアカウントをご利用いただいても構いません。

▶ メール配信機能

設定箇所 メールDMサーバー

種類（設定先）	説明
A.メールDMサーバー用アカウント （メールDM管理画面で設定）	メールDMサーバーとApproach DAMサーバーが連携する際に必要なアカウント。 他で利用しない**専用のアカウント**が必要です。

設定箇所 Approach DAMサーバー

種類（設定先）	説明
C.配信用アカウント「配信アドレス」 （「共用メールアカウント」に設定）	メール配信の為のアカウント。送信元アドレスになります。
D.外部送信メールアカウント （「外部送信メール」に設定）	メールDMサーバーとApproach DAMサーバーが連携（A.メールDMサーバー用アカウント宛てに配信依頼のコマンドメールを送信）するためのアカウント。

⚠ 注意

- 「メール取込機能」と「メール配信機能」の両方をご利用の場合、B：取込用アカウントと、C：配信用アカウントは同一アカウントをご利用いただいても構いません。

メール取込機能を利用するためのメール設定

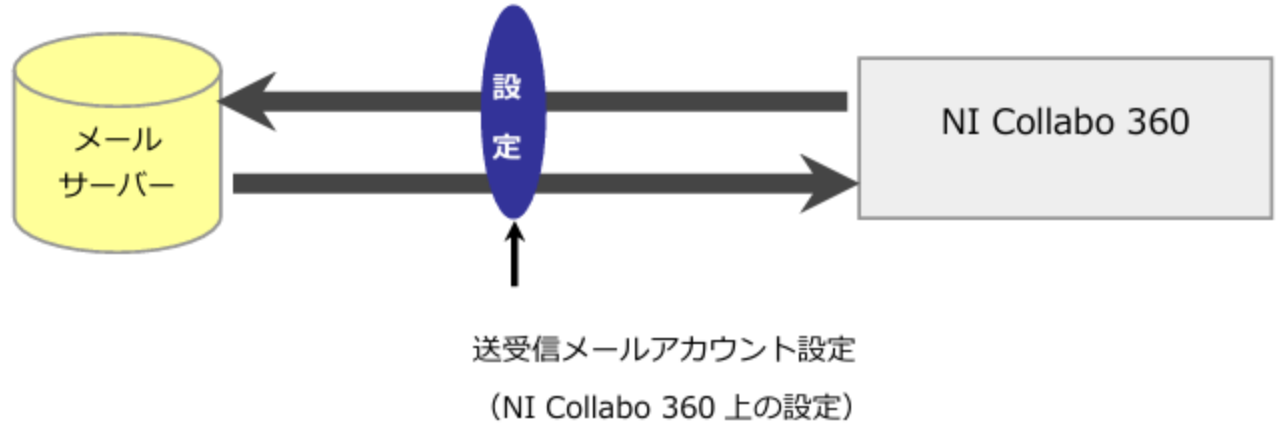
▶ 取込方法について

メール取込機能を利用するためのメール情報を登録します。Approach DAM製品自体にメール機能はなく、メールを送受信する為には別途メーラーを用意し設定を行う必要があります。利用するメーラーの設定方法に準拠して登録をしてください。

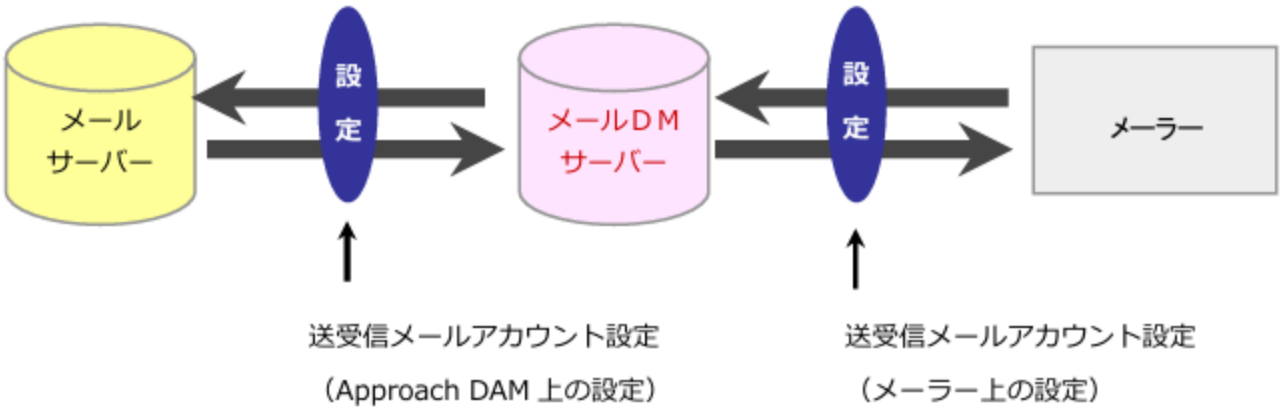
ここでは弊社提供のグループウェア「NI Collabo 360」をメーラーとして利用する方法（※）のメール設定をご案内いたします。

※「NI Collabo 360」をメーラーとして利用する場合は、**メールDMサーバーを経由せず**に直接メール取込が可能です

【NI Collabo 360を利用しメールDMサーバーを経由せずにメールの送受信を行う場合】



【外部メーラーを利用しメールDMサーバーを経由したメールの送受信を行う場合】



▶ グループウェア「NI Collabo 360」を利用

Approach DAMとNI Collabo 360はシームレスな連携が可能で、**メールDMサーバーを経由せず**にメール取込機能を利用することができます。

1. システム設定の「**基本設定**」タブの「**メール**」の「メールサーバー」を選択します。
   ⇒「メール／メールサーバー」画面が表示されます。
2. 「新規登録」ボタンをクリックします。
   ⇒新規登録画面が表示されます。
3. 必要事項を設定し、最後に「保存」ボタンをクリックします。
   入力内容についてはシステム設定マニュアル「基本設定」をご参照ください。
4. グループウェア「NI Collabo 360」にログインし、画面最下部左下にある「オプション設定」をクリックします。
   ⇒「オプション設定」画面が表示されます。
5. 「メール」＞「アカウント設定」を押し、「新規登録」ボタンを押します。
   ⇒新規登録画面が表示されます。
6. 各項目の入力が完了しましたら「登録」ボタンを押して内容を保存してください。
   設定項目については、下表をご参照ください。



※入力内容については「アカウント設定」をご参照ください。

▶ メールDMサーバーを利用

補足

- 「NI Collabo 360」を利用する場合の設定を行う場合は本項の設定は不要です。

送受信メールアカウント設定（Approach DAMサーバー）

本項で設定するメールアカウントは、「メールアカウントについて」で記載されている「B.取込み用アカウント」を利用します。
ここでの設定は、通常のメール送受信の設定と同様、メールアカウントのご契約情報を登録します。

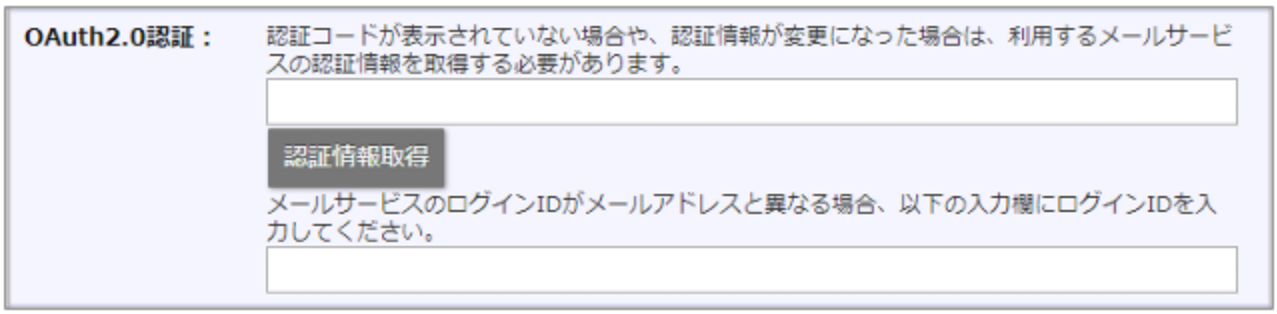
1. システム設定の「**基本設定**」タブの「**メール**」の「メールサーバー」を選択します。
   ⇒「メール／メールサーバー」画面が表示されます。
2. 「新規登録」ボタンをクリックします。
   ⇒新規登録画面が表示されます。
3. 必要事項を設定し、最後に「保存」ボタンをクリックします。
   入力内容についてはシステム設定マニュアル「基本設定」をご参照ください。
   POP3でのメール受信が行えない場合のみ、IMAPをご利用ください。
   「メールアカウントについて」の「B.取込み用アカウント」として用意したアカウント情報を入力します。
4. システム設定>「**製品名タブ（Approach DAM）**」>「**メール**」>「共用メールアカウント」を選択します。
   ⇒ 共用メールアカウントの一覧画面が表示されます。



5. 「新規登録」ボタンをクリックします。
   ⇒メールアカウントの新規登録画面が表示されます。
6. メールアドレスやメールサーバー、送受信のログインIDとパスワードなど必要事項を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



Oauth2.0認証のメールサーバーを選択した場合、OAuth2.0認証を利用するための認証項目が表示されます。



※Oauth2.0認証のメールサーバーを選択した場合、受信ログインIDや受信パスワード、SMTP認証情報等が、非表示になりますので、受信パスワードを先に入力してください。
受信パスワードに入力したパスワードと、メーラーに入力したパスワードでチェックを行います。

項目名	必須	説明
共用メールID	○	任意の文字列（半角英数字）を入力します。 本メールIDは後述の設定で使用します。 例）メールアドレス：admin@XXX.co.jp⇒「admin」などメールアカウントIDと同じでも構いませんが、**設定を混同しやすいため他の文字列にするか別途識別文字列などを付与することを推奨します。** 半角シャープ記号は利用できません。
E-Mailアドレス	○	本マニュアル「メールアカウントについて」の「B.メール取込み用アカウント」として用意したメールアドレスを入力します。
メールサーバー	○	受信するメールアドレスのサーバーを選択します。 **前項で設定した、メールサーバー名を選択します。**
受信ログインID	○	メールアカウントで設定されている受信ログインを入力します。
受信パスワード	○	メールアカウントで設定されているパスワードを入力します。
受信パスワード（確認）	○	同上
POP/IMAP before SMTP SMTP認証 SMTP認証方式 SMTPログイン ID SMTPパスワード		指定されていなければ初期値のままにしておきます。
OAuth2.0認証		OAuth2.0認証を利用する場合のみ表示されます。 OAuth2.0認証の認証情報取得ボタンを押下し、認証を進めて、取得した認証コードをテキストボックスに転記してください。 ※ログインIDは、メールアドレスとログインIDが異なる場合のみ入力が必要です。
使用制限		このアカウントで送受信できる社員を指定します。未指定時は Approach DAM の製品利用ライセンスを有した社員全員が送受信いずれも使用できます。

送受信メールアカウント設定（メーラー）

本項で設定するメールアカウントは、「メールアカウントについて」で記載されている「B.取込み用アカウント」を利用します。
この設定は、利用者がメールを送受信するためのメールサーバー情報を登録します。前掲の図の通り、メール送受信はメールDMサーバーを経由するため、ここでの設定はメールDMサーバーへの接続情報を登録します。

ポート番号の変更方法

メールDMサーバー経由でメールを送受信する場合、初期値でポートは8025（送信）と8110（受信）を利用します。
他のポート番号をご利用の場合、メールDMサーバーを以下の設定に変更してください。

1. Windowsの「スタート」を右クリックし、「エクスプローラー」を開きます。
   左のフォルダからメールDMサーバーがインストールされたドライブの「Niconsul」＞「TasDM」＞「server properties」を開きます。
2. ＜pop3.server.port = 8110＞ ＜imap.server.port = 8143＞ ＜smtp.server.port = 8025＞をそれぞれ変更したポート番号に書き直し、保存します。

```
＃Pop3ProxyServer setting
pop3.server.port = 8110
pop3.server.socket_timeout = 300000
pop3.server.pop3_socket_timout = 300000

＃IMAPProxyServer setting
imap.server.port = 8143
imap.server.socket_timeout = 300000
imap.server.pop3_socket_timout = 300000

＃SmtpProxyServer setting
smtp.server.port = 8025
smtp.server.socket_timeout = 300000
smtp.server.smtp_socket_timeout = 300000
```

メール配信機能を利用するためのメール設定

メール配信機能を利用するためのメール情報の登録についてご案内いたします。

メール配信する際の送信元のメール設定を行います。
本項で設定するメールアカウントは、「メールアカウントについて」で記載されている「C.配信用アカウント」を設定します。

> ⚠ 注意
>
> - 「メール自動取込機能」と「メール配信機能」の両方をご利用の場合、B.取込み用アカウントと、C.配信用アカウントは同一アカウントでも構いません。その場合、本設定は必要ありません。
> - アカウントの内容については、本マニュアル「メールアカウントについて」をご参考ください。

1. システム設定の「**基本設定**」タブの「**メール**」の「メールサーバー」を選択します。
   ⇒「メール／メールサーバー」画面が表示されます。
2. 「新規登録」ボタンをクリックします。
   ⇒新規登録画面が表示されます。
3. 必要事項を設定し、最後に「保存」ボタンをクリックします。
   入力内容についてはシステム設定マニュアル「基本設定」をご参照ください。
   POP3でのメール受信が行えない場合のみ、IMAPをご利用ください。
4. システム設定>「**製品名タブ（Approach DAM）**」>「**メール**」>「共用メールアカウント」を選択します。
   ⇒共用メールアカウントの一覧画面が表示されます。

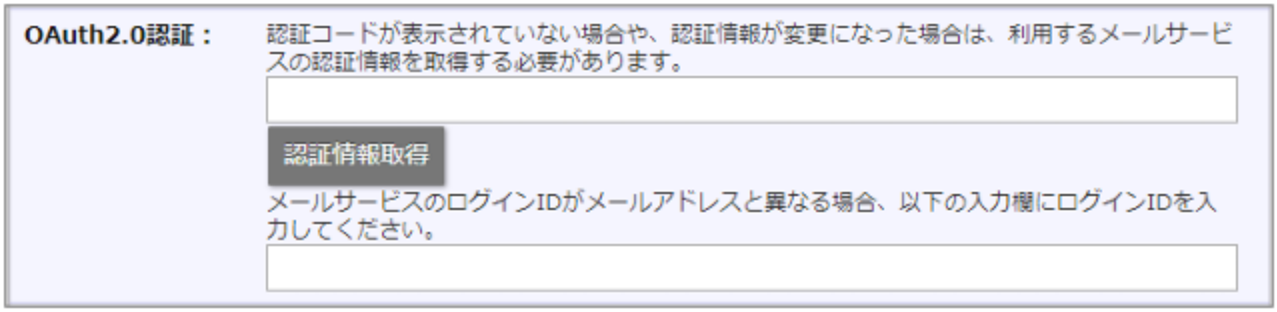


5. 「新規登録」ボタンをクリックします。
   ⇒新規登録画面が表示されます。
6. メールアドレスやメールサーバー、送受信のログインIDとパスワードなど必要事項を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

「メールアカウントについて」の「C.配信用アカウント」として用意したアカウント情報を入力します。



Oauth2.0認証のメールサーバーを選択した場合、OAuth2.0認証を利用するための認証項目が表示されます。



※Oauth2.0認証のメールサーバーを選択した場合、受信ログインIDや受信パスワード、SMTP認証情報等が、非表示になりますので、受信パスワードを先に入力してください。
受信パスワードに入力したパスワードと、メーラーに入力したパスワードでチェックを行います。

項目名	必須	説明
共用メールID	○	任意の文字列（半角英数字）を入力します。 例）メールアドレス：admin@XXX.co.jp⇒「admin」
E-Mailアドレス	○	「メールアカウントについて」の「C.配信用アカウント」として用意したメールアドレスを入力します。
メールサーバー	○	受信するメールアドレスのサーバーを選択します。 **前項で設定した、メールサーバー名を選択します。**
受信ログインID	○	メールアカウントで設定されている受信ログインIDを入力します。
受信パスワード	○	メールアカウントで設定されているパスワードを入力します。
受信パスワード（確認）	○	同上
POP/IMAP before SMTP SMTP認証 SMTP認証方式 SMTPログインID SMTPパスワード		指定されていなければ初期値のままにしておきます。
OAuth2.0認証		OAuth2.0認証を利用する場合のみ表示されます。 OAuth2.0認証の認証情報取得ボタンを押下し、認証を進めて、取得した認証コードをテキストボックスに転記してください。 ※ログインIDは、メールアドレスとログインIDが異なる場合のみ入力が必要です。
使用制限		（このアカウントで送受信できる社員を指定します。メール配信では特に使用しません）

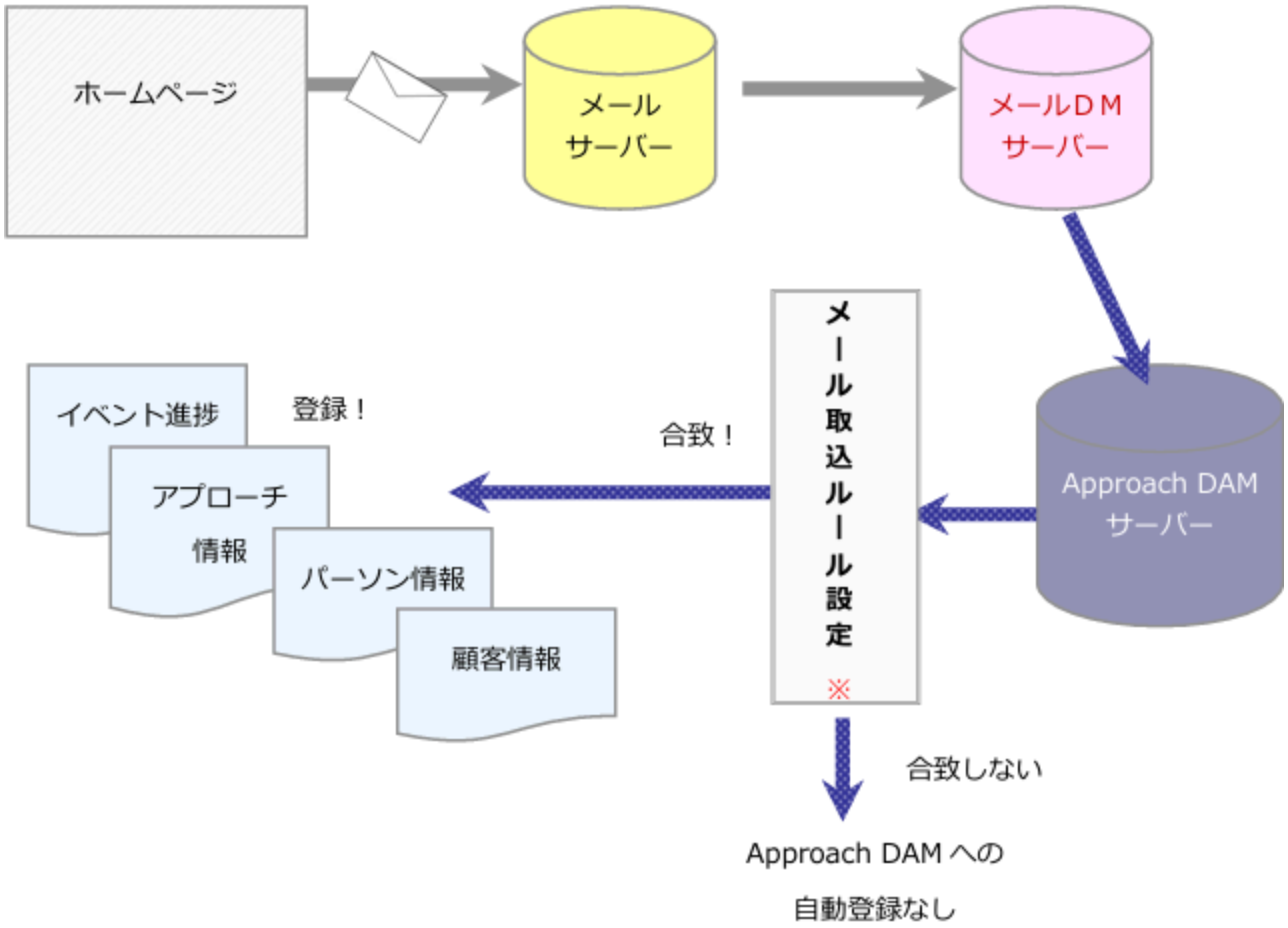
▶ 外部送信メール設定

メール配信時、Approach DAMからメールDMサーバーへ配信依頼を行うコマンドメールを送信するためのメールアカウントの設定を行います。本項で設定するメールアカウントは、「メールアカウントについて」で記載されている「D.外部送信メールアカウント」を設定します。

1. システム設定の「**基本設定**」タブの「**メール**」の「メールサーバー」を選択します。
   ⇒「メール／メールサーバー」画面が表示されます。
2. 「新規登録」ボタンをクリックします。
   ⇒新規登録画面が表示されます。
3. 必要事項を設定し、最後に「保存」ボタンをクリックします。
   入力内容についてはシステム設定マニュアル「基本設定」をご参照ください。
   「メールアカウントについて」の「D.外部送信メールアカウント」として用意したアカウント情報を入力します。
4. システム設定＞**基本設定**＞**メール**＞外部送信メールを選択します。
   ⇒「メール／外部送信メール」画面が表示されます。
5. 登録画面が開きましたら、メールサーバー名や送信メールサーバー、受信メールサーバーなど必要事項を入力し、「保存」ボタンをクリックします。
   入力内容については、システム設定マニュアル「基本設定」をご参照ください。

メール取込ルール

メール取込機能を利用すると、自動的にアプローチ情報（履歴）および関連するパーソン情報、イベント進捗を自動登録することができます。
この自動取込みを実行するためには、システム設定画面にて取込ルールを設定しなければなりません。
※メール取込機能の概要は、「構成図」をご参照ください。
ここでは、取込ルール設定とその制約についてご説明いたします。



※「メール取込ルール」・・・「件名にXXを含む」メールなど製品に取込みたいメールの条件のこと。

▶ メール取込ルールを登録する

> ⚠ 注意
>
> - メール取込みルール設定は、Approach DAMシステム設定マニュアルにも記載しています。

1. システム設定の 「**製品名タブ（Approach DAM）**」の「**メール取込**」の「メール取込ルール」を選択します。
   ⇒「メール取込／メール取込ルール」画面が表示されます。
2. 「新規登録」ボタンをクリックします。
   ⇒新規登録画面が表示されます。
3. 必要事項を入力し、最後に「保存」ボタンをクリックします。

項目名称	説明	
名称	メール取込ルール名を任意に入力します。	
有効	このメール取込ルールを即時有効にする場合は、「有効」を選択します。	
取込フォーマット	取込フォーマットを新規に作成する場合は、「新規登録」ボタンをクリックします。 ※取込フォーマットの詳細は、「メール取込フォーマットを登録する」参照してください。	
条件		
条件一致	設定した対象について「すべての条件に一致する」あるいは「いずれかの条件に一致する」を選択します。	
対象	対象のメール種類を選択します。	
値	「対象」にて選択した種類に対する内容（値）を入力します。 ※「メール本文が全て英文字」の場合は、「真」か「偽」を選択します。 ※値が複数ある場合は、改行して入力してください。	
条件	「値」にて入力された内容の条件を選択します。	
追加	新たに条件を追加する場合は、「追加」ボタンをクリックします。 ⇒新しい項目が追加されます。	
アクション		
対象	条件に合致した場合、「何もしない」「登録：アプローチ情報」のいずれかを選択します。	
	何もしない	動作は行われません。
	登録：アプローチ情報	メール情報から推定されたアプローチ情報を自動作成します。 顧客情報やパーソン情報も作成されます。 この時、担当者にセットされる条件として以下の順番にセットされます。 1.メール本文内で指定された担当者 2.メール本文内で指定された顧客情報の担当者 3.メールの宛先のアドレスを持つ社員 4.デフォルトで設定された社員
値	ー	

▶ 自動作成される各情報の構成と制約



項目名	説明
アプローチ情報	アプローチ内容に配信タイトルおよびメール件名が登録されます。 添付ファイルはアプローチ情報の添付ファイルとして保存されます。 「顧客情報」が入力されている場合、該当の顧客情報と紐づきます。
顧客情報	類似検索結果・登録などの情報はジャーナルに記録されますのでご確認ください。 「パーソン情報」が入力されている場合は、パーソン情報と紐付きます。 顧客情報未入力時は、顧客名が「未登録顧客」の情報を作成し紐付きます。
パーソン情報	類似検索結果・登録などの情報はジャーナルに記録されますので確認してください。 「顧客情報」に類似・登録済み・入力がある場合は、その顧客情報と紐付きます。
イベント進捗	登録済みのイベント名が入力されている場合のみ、イベント情報とアプローチ情報が紐付けられます。